

「柏崎刈羽原子力発電所」の見学会を開催いたしました！！

- ★ 日 時 平成 29 年 9 月 1 日（金） 12：10～17：00
（発電所見学時間 13：00～16：00）
- ★ 場 所 東京電力ホールディングス(株) 柏崎刈羽原子力発電所
- ★ 参加人数 37 名



今回は、見学会参加者へのアンケートで原子力発電所見学のご要望が多かったことから、東京電力ホールディングス(株)様の柏崎刈羽原子力発電所の見学会を開催いたしました。

見学会は、はじめに林副所長より発電所の概要や安全対策について、資料とパワーポイントにて、丁寧にご説明いただきました。

その後、約 420 万㎡もの広大な発電所構内をバスで移動しながら、緊急用の車両や、防潮堤、免震重要棟、淡水貯水池等、新規制基準へ対応するための安全対策の実施状況を車中からご案内いただきました。

6号機の原子炉建屋では、見学用に設置されたギャラリーから、オペレーションフロアを見学し、安全対策についてご説明いただきました。

7号機のタービン建屋では、オペレーションフロアや高圧代替注水系設備、さらに格納容器内までご案内いただき、主蒸気隔離弁等を見学させていただくなど、大変貴重な見学会となりました。

今回の見学会で、当発電所が福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、それを更を超えた想定で様々な安全対策を施され、日々安全レベルの向上に努められていることについて改めて認識を深めることができました。

最後に、お忙しい中ご案内いただきました、東京電力ホールディングス(株)柏崎刈羽原子力発電所の皆さまに、心より感謝申し上げます。



参加者のご感想 ～参加者アンケートより～

- *タービン建屋だけではなく原子炉建屋内部も見学することができ、設備を丁寧に紹介いただけて非常に有意義な見学会だった。
- *東日本大震災後の安全対策について充分すぎる位の非常用設備と対策を施していることが確認でき、安心できた。
- *発電所内に入る前に発電所構内の説明があり、見学時に内容の理解を深めることができ非常に良かった。また、見学時に職員による安全の配慮や、ご案内の際の配慮（レシーバー等）により、安全に見学ができた。
- *様々なセキュリティチェック体制、日本大震災から学ぶ教訓を活かしつつ、更なる想定を超える対策を行う事で、常に進化する安全体制など、大変素晴らしいと感動した。
- *東日本大震災以降、一層難しくなった原子力発電所の安全管理レベルに対して、しっかり対応されていると思った。徹底したリスクアセスメントのもと、多様な安全対策が多重に施されており、これほどの安全管理体制を構築・維持する企業努力に敬服する。リソース管理、特に管理・技能の人材管理が大変なのではないかと感じた。また、今回の見学会も含め、こうした安全管理を丁寧に説明されることが、地域社会を始めとした公共の「安心」に繋がっていくものと思う。
- *発電所構内において地震、津波、火災に関する対策が充分に行われていることを知り、発電所の見方が変わった。
- *新規制基準及び福島第一原子力発電所の事故を踏まえた安全対策を一步一步確実にやっていることを、現物を見て実感できた。
- *厳重なセキュリティと幾重にもかけられた想定事例をもとに、様々な対策がたてられている事を知り、勉強になった。今回、原子力発電所の建屋内に入れた事は貴重な経験であった。

～その他、多くのご感想・ご意見をいただきました。ありがとうございました～

今回も多くの皆さまに、お申しいただき、誠にありがとうございました。
今後も、見学会をはじめ、講演会・講習会の開催を予定しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。